

## 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う国際線の対応について(Rev.40)

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う環境変化への対応として、2022年7月におけるパリ・グアム路線、8月のハワイ路線、および8～9月におけるパリ・メルボルン・グアム路線の路線便数計画を決定しました。

JALのコナ・グアム路線は、新型コロナウイルスの影響で運休を決定して以降、2年3ヵ月ぶりの運航となります。久しぶりのリゾート渡航をお楽しみいただけるよう、期間限定の運賃やツアー商品の販売などをご用意しています(\*1)。

引き続き空港や機内の清掃・除菌を徹底し、安全・安心な空の旅を提供してまいります。

(\*1)2022年5月26日付プレスリリース第22014号「この夏、ホノルル線を増便、コナ・グアム線を2年ぶりに運航します」

URL:<https://press.jal.co.jp/ja/release/202205/006679.html>

【主なトピックス】 ※=は往復、-は片道を表します。

- 7月から羽田=パリ線を増便し毎日運航、9月はメルボルン線を増便し週3往復とします。
- ハワイ方面では、8月に羽田・関西=ホノルル線を増便するとともに、中部=ホノルル線および成田=コナ線を運航します。
- グアム路線については、8～9月において成田=グアム線を運航します。

### <路線便数計画について>

#### ■ 2022年7月の路線便数計画(\*)

\*本日までに未発表のソウル路線を除く

計画路線数	減便対象 路線数	計画便数 (片道)	減便便数 (片道)	減便率 (減便便数/計画便数)
58	58	4,588	2,587	56%

#### ■ 2022年8月の路線便数計画(\*)

\*本日本発表のシンガポール・デリー・香港以外の東アジア路線を除く

計画路線数	減便対象 路線数	計画便数 (片道)	減便便数 (片道)	減便率 (減便便数/計画便数)
39	39	2,914	1,037	36%

#### ■ 2022年9月の路線便数計画(\*)

\*本日本発表のシンガポール・デリー・香港以外の東アジア・ハワイ路線を除く

計画路線数	減便対象 路線数	計画便数 (片道)	減便便数 (片道)	減便率 (減便便数/計画便数)
34	34	2,400	817	34%

※上記減便率は2020年度事業計画比です。なお、上記のスケジュールは関係当局への申請と認可を前提としています。

<方面、都市について>

北米	シカゴ、ダラス・フォートワース、ボストン、ニューヨーク、サンフランシスコ、ロサンゼルス、シアトル、サンディエゴ、バンクーバー
欧州	ロンドン、パリ、フランクフルト、ヘルシンキ、モスクワ、ウラジオストク
東南アジア	シンガポール、クアラルンプール、デリー、ベンガルール、ジャカルタ、マニラ、バンコク、ハノイ、ホーチミンシティ
オセアニア	シドニー、メルボルン
東アジア	北京、大連、天津、上海(浦東・虹橋)、広州、香港、ソウル(金浦)、台北(桃園・松山)
ハワイ・グアム	ホノルル(オアフ島)、コナ(ハワイ島)、グアム

以上

※路線便数詳細は別添資料をご参照ください。今後の最新情報については JAL Web サイト  
( <https://www.jal.co.jp/jp/ja/info/2020/other/200511/index.html#inter> )をご参照ください。